

教科 No.	2801	授業科目	博物館概論	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	田島達也			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 博物館の定義、博物館の歴史、博物館の役割・機能など、博物館に関する基本的な知識を習得する。</p> <p>【授業概要】 博物館に関する基本的な事項を、資料、画像、映像等を交えながら講義する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業の説明</td> <td>9. 博物館と関連業界</td> </tr> <tr> <td>2. 博物館とは何か</td> <td>10. 博物館と類似施設</td> </tr> <tr> <td>3. 博物館の歴史</td> <td>11. 展覧会のいろいろ</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. 博物館の仕事</td> <td>13. 博物館をめぐる近年の動向</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. 博物館を支える研究領域</td> <td>15. 展覧会見学<期日未定></td> </tr> <tr> <td>8. 博物館と社会教育</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 期末レポート。博物館を1つ選んで詳しく調べる課題を出す。</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】 並木誠士・吉中充代・米屋優編 『現代美術館学』 昭和堂</p>						1. 授業の説明	9. 博物館と関連業界	2. 博物館とは何か	10. 博物館と類似施設	3. 博物館の歴史	11. 展覧会のいろいろ	4. "	12. "	5. 博物館の仕事	13. 博物館をめぐる近年の動向	6. "	14. "	7. 博物館を支える研究領域	15. 展覧会見学<期日未定>	8. 博物館と社会教育	
1. 授業の説明	9. 博物館と関連業界																				
2. 博物館とは何か	10. 博物館と類似施設																				
3. 博物館の歴史	11. 展覧会のいろいろ																				
4. "	12. "																				
5. 博物館の仕事	13. 博物館をめぐる近年の動向																				
6. "	14. "																				
7. 博物館を支える研究領域	15. 展覧会見学<期日未定>																				
8. 博物館と社会教育																					

教科 No.	2802	授業科目	博物館資料論	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	○松尾敦子			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 博物館の骨格をなすのが博物館資料であり、それを扱うことが学芸員の職務である。授業では、「モノ」がどのように価値付けられて博物館資料として活用されるのか、そのプロセスを学ぶことで、学芸員の活動について理解を深める。</p> <p>【授業概要】 美術系博物館の資料について、前半では、調査・研究、保存・管理、展示に関する方法論について概観する。後半では、予め提示した資料について、各自、見学と研究を行い、その成果をもとに（仮想）展覧会を企画して発表する。芸術大学の学生ならではの制作側の視点や発想が発表に活かされることを期待する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス(発表の説明と担当決定) 必ず出席すること</td> <td>9. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>2. 資料収集の歴史</td> <td>10. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集の方法</td> <td>11. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>4. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅰ)</td> <td>12. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>5. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅱ)</td> <td>13. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>6. 資料の保存・管理・展示について</td> <td>14. 仮想展覧会の発表</td> </tr> <tr> <td>7. 仮想展覧会の発表</td> <td>15. 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 仮想展覧会の発表</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 出席率・発表・レポートを総合して評価する。正当な理由が無く欠席が3回を越えた場合と、発表を怠った場合については、評価をしない。遅刻は2回までとする。</p> <p>【履修上の注意】 授業の流れがわからなくなるので、第1・2回の連続欠席はしないこと。授業時間以外に展覧会見学を義務づける。</p> <p>【教科書】 プリントを配布</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 履修人数に応じて、授業スケジュールを変更する場合がある。</p>						1. ガイダンス(発表の説明と担当決定) 必ず出席すること	9. 仮想展覧会の発表	2. 資料収集の歴史	10. 仮想展覧会の発表	3. 資料収集の方法	11. 仮想展覧会の発表	4. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅰ)	12. 仮想展覧会の発表	5. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅱ)	13. 仮想展覧会の発表	6. 資料の保存・管理・展示について	14. 仮想展覧会の発表	7. 仮想展覧会の発表	15. 授業のまとめ	8. 仮想展覧会の発表	
1. ガイダンス(発表の説明と担当決定) 必ず出席すること	9. 仮想展覧会の発表																				
2. 資料収集の歴史	10. 仮想展覧会の発表																				
3. 資料収集の方法	11. 仮想展覧会の発表																				
4. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅰ)	12. 仮想展覧会の発表																				
5. 美術資料の特質と調査・研究について(Ⅱ)	13. 仮想展覧会の発表																				
6. 資料の保存・管理・展示について	14. 仮想展覧会の発表																				
7. 仮想展覧会の発表	15. 授業のまとめ																				
8. 仮想展覧会の発表																					

教科 No.	2803	授業科目	博物館経営・情報論	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	田島達也			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 博物館を運営するためには、いかなる理念をもち、どのような戦略を立てる必要があるのかを学ぶ。また、博物館が有する様々な情報を活用する方法を考える。</p> <p>【授業概要】 前半では、現代の博物館経営に必要な視点を挙げていく。後半では、博物館における「情報化」のありかたについて、具体的な事例を挙げながら解説する。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 経営論 情報論とは</td> <td>9. 情報論 資料情報</td> </tr> <tr> <td>2. 経営論 立地・建築・設備</td> <td>10. 情報論 情報機器</td> </tr> <tr> <td>3. 経営論 収集・展示</td> <td>11. 情報論 広報</td> </tr> <tr> <td>4. 経営論 組織</td> <td>12. 情報論 デジタル化・ネットワーク化</td> </tr> <tr> <td>5. 経営論 収支</td> <td>13. 仮想美術館設立演習</td> </tr> <tr> <td>6. 経営論 企画</td> <td>14. //</td> </tr> <tr> <td>7. 経営論 評価と改善</td> <td>15. //</td> </tr> <tr> <td>8. 中間発表</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 学生に新しい博物館の企画を立て、プレゼンをしてもらう。その内容で評価する。</p> <p>【履修上の注意】</p>						1. 経営論 情報論とは	9. 情報論 資料情報	2. 経営論 立地・建築・設備	10. 情報論 情報機器	3. 経営論 収集・展示	11. 情報論 広報	4. 経営論 組織	12. 情報論 デジタル化・ネットワーク化	5. 経営論 収支	13. 仮想美術館設立演習	6. 経営論 企画	14. //	7. 経営論 評価と改善	15. //	8. 中間発表	
1. 経営論 情報論とは	9. 情報論 資料情報																				
2. 経営論 立地・建築・設備	10. 情報論 情報機器																				
3. 経営論 収集・展示	11. 情報論 広報																				
4. 経営論 組織	12. 情報論 デジタル化・ネットワーク化																				
5. 経営論 収支	13. 仮想美術館設立演習																				
6. 経営論 企画	14. //																				
7. 経営論 評価と改善	15. //																				
8. 中間発表																					

教科 No.	2701	授業科目	教育学概論 1	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	三木博			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 教職の基礎理論として、教育について何が問題なのか、教育に何が起っているのかを見極めるための批判的な分析能力を身につける。客観的な事実の分析と批判によって、教育の生きたリアリティーを把握する。</p> <p>【授業概要】 基本的な読解と表現の技法の習得を踏まえながら、教育の理念、教育に関する歴史及び思想を解説する。教育へのミクロな視点とマクロな視点の両者を養成する。授業の構成としては、講義形式と集団討論形式を併用しながら、成果を小レポートにまとめることにより、講義内容をより具体的に理解できるようにする。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 教育思想史 I</td> </tr> <tr> <td>2. 考えるための作文技法</td> <td>10. 教育思想史 II</td> </tr> <tr> <td>3. 批判的読解の技法</td> <td>11. 戦後教育史</td> </tr> <tr> <td>4. 明治時代の教育</td> <td>12. 教育評価</td> </tr> <tr> <td>5. メディアのなかの教師像</td> <td>13. 学級と一斉授業</td> </tr> <tr> <td>6. 学校文化の国際比較</td> <td>14. 討議課題による演習</td> </tr> <tr> <td>7. 教育と学校の歴史</td> <td>15. 試験</td> </tr> <tr> <td>8. 国定教科書の歴史</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 小レポートの提出および期末試験</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 教育原理 1 と合同授業</p>						1. オリエンテーション	9. 教育思想史 I	2. 考えるための作文技法	10. 教育思想史 II	3. 批判的読解の技法	11. 戦後教育史	4. 明治時代の教育	12. 教育評価	5. メディアのなかの教師像	13. 学級と一斉授業	6. 学校文化の国際比較	14. 討議課題による演習	7. 教育と学校の歴史	15. 試験	8. 国定教科書の歴史	
1. オリエンテーション	9. 教育思想史 I																				
2. 考えるための作文技法	10. 教育思想史 II																				
3. 批判的読解の技法	11. 戦後教育史																				
4. 明治時代の教育	12. 教育評価																				
5. メディアのなかの教師像	13. 学級と一斉授業																				
6. 学校文化の国際比較	14. 討議課題による演習																				
7. 教育と学校の歴史	15. 試験																				
8. 国定教科書の歴史																					

教科 No.	2702	授業科目	教育学概論 2	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	三木博			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 教職の基礎理論として、教育について何が問題なのか、教育に何が起っているのかを見極めるための批判的な分析能力を身につける。客観的な事実の分析と批判によって、教育の生きたリアリティーを把握する。</p> <p>【授業概要】 冷静な分析判断力の養成をめざしながら、多様な教育改革論・学校論・教師論などの批判的な分析を通して、教育に関する社会的・制度的又は経営的事項を解説する。授業の構成としては、講義形式と集団討論形式を併用しながら、成果を小レポート等にまとめることにより、講義内容をより具体的に理解できるようにする。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 能力論</td> <td>9. 義務教育</td> </tr> <tr> <td>2. ジェンダー論</td> <td>10. 教師の多忙問題</td> </tr> <tr> <td>3. 就職と学歴</td> <td>11. 教師の発達と教職の専門性</td> </tr> <tr> <td>4. 学歴とメリトクラシー</td> <td>12. 教師と教員制度改革</td> </tr> <tr> <td>5. 児童・生徒問題 I - いじめ -</td> <td>13. 日本の教育改革</td> </tr> <tr> <td>6. 児童・生徒問題 II - 不登校 -</td> <td>14. 討議課題による演習</td> </tr> <tr> <td>7. 高等教育論</td> <td>15. 試験</td> </tr> <tr> <td>8. 子どもの貧困と教育投資</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 小レポートの提出および期末試験</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 教育原理 2 と合同授業</p>						1. 能力論	9. 義務教育	2. ジェンダー論	10. 教師の多忙問題	3. 就職と学歴	11. 教師の発達と教職の専門性	4. 学歴とメリトクラシー	12. 教師と教員制度改革	5. 児童・生徒問題 I - いじめ -	13. 日本の教育改革	6. 児童・生徒問題 II - 不登校 -	14. 討議課題による演習	7. 高等教育論	15. 試験	8. 子どもの貧困と教育投資	
1. 能力論	9. 義務教育																				
2. ジェンダー論	10. 教師の多忙問題																				
3. 就職と学歴	11. 教師の発達と教職の専門性																				
4. 学歴とメリトクラシー	12. 教師と教員制度改革																				
5. 児童・生徒問題 I - いじめ -	13. 日本の教育改革																				
6. 児童・生徒問題 II - 不登校 -	14. 討議課題による演習																				
7. 高等教育論	15. 試験																				
8. 子どもの貧困と教育投資																					

教科 No.	2704	授業科目	生涯教育及び視聴覚教育メディア論	単位数	週1コマ 2単位																
担当教員	三木博			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	1年次以上																	
<p>【授業目標】 急激な社会構造の変革期にあたって、今後の生涯学習社会が直面するいくつかの根本問題について理解を深める。同時に生涯学習においてメディア教育が開く新たな可能性について学ぶ。</p> <p>【授業概要】 今日の高度情報化社会における生涯学習とメディア教育のあり方をめぐって、両者を連関させながら、いくつかの根本的問題に即して具体的に解説する。授業の構成としては、講義形式と集団討論形式を併用しながら、成果を小レポート等にまとめることにより、講義内容をより具体的に理解できるようにする。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 子どものメディア環境</td> </tr> <tr> <td>2. 社会教育論</td> <td>10. 生涯学習社会と情報教育</td> </tr> <tr> <td>3. 生涯学習と高齢化社会</td> <td>11. 生涯学習社会と学校教育</td> </tr> <tr> <td>4. 生涯学習と発達段階</td> <td>12. 声-情報-聴く</td> </tr> <tr> <td>5. ライフサイクル論</td> <td>13. メディア革命と情報産業</td> </tr> <tr> <td>6. フィンランドの教育</td> <td>14. 討議課題による演習</td> </tr> <tr> <td>7. メディアと権力Ⅰ</td> <td>15. 試験</td> </tr> <tr> <td>8. メディアと権力Ⅱ</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 小レポートの提出および期末試験</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 社会教育及び視聴覚教育と合同授業</p>						1. オリエンテーション	9. 子どものメディア環境	2. 社会教育論	10. 生涯学習社会と情報教育	3. 生涯学習と高齢化社会	11. 生涯学習社会と学校教育	4. 生涯学習と発達段階	12. 声-情報-聴く	5. ライフサイクル論	13. メディア革命と情報産業	6. フィンランドの教育	14. 討議課題による演習	7. メディアと権力Ⅰ	15. 試験	8. メディアと権力Ⅱ	
1. オリエンテーション	9. 子どものメディア環境																				
2. 社会教育論	10. 生涯学習社会と情報教育																				
3. 生涯学習と高齢化社会	11. 生涯学習社会と学校教育																				
4. 生涯学習と発達段階	12. 声-情報-聴く																				
5. ライフサイクル論	13. メディア革命と情報産業																				
6. フィンランドの教育	14. 討議課題による演習																				
7. メディアと権力Ⅰ	15. 試験																				
8. メディアと権力Ⅱ																					

教科 No.	2807	授業科目	博物館実習 1	単位数	週2コマ 2単位
担当教員	伊東徹夫・○毛呂祐子			開講学期	前期
履修条件	『博物館概論』の単位を修得済であること		履修学年・専攻等	定員あり（4年次，大学院生を優先する）	
【授業目標】 博物館の学芸員や研究スタッフが，大学・大学院で学んでおくべき知識と技術を学ぶ（前半）。					
【授業概要】 前期は，関西地方の博物館施設での授業が主となる。交通費・入館料は自己負担とする。陳列資料について解説するのではなく，多様な種類の博物館施設を，博物館学的見地から考察できるように指導する。授業計画は入れ替わる予定である。					
【授業内容】					
1. 導入講義。経費を集める。	9.	"			
2. 博物館施設を見学する際のポイント	10.	"			
3. 博物館施設等の見学（学外）	11.	"			
4. "	12.	"			
5. "	13.	"			
6. "	14.	"			
7. "	15.	総括			
8. "					
【評価方法】 公的な資格に必要な科目であるので，出席数のチェックと採点は厳しい。出席・レポート，ノートの採点を総合して評価する。当然のことながら，遅刻と早退は減点の対象とする。第1回の導入講義で詳細を説明する。					
【履修上の注意】 登録前に掲示を必ず読むこと。第1回の導入講義に必ず出席すること。授業の性格上，受講者数を制限せざるをえないので，学部1・2回生の履修は事実上不可能であろう。					

教科 No.	2808	授業科目	博物館実習 2	単位数	週2コマ 2単位
担当教員	伊東徹夫・○毛呂祐子			開講学期	後期
履修条件	『博物館実習 1』の単位を修得済であること		履修学年・専攻等	定員あり（4年次，大学院生を優先する）	
【授業目標】 博物館の学芸員や研究スタッフが，大学・大学院で学んでおくべき知識と技術を学ぶ（後半）。					
【授業概要】 後期は，本学の芸術資料館の学芸員とともに教授する。館内実習が中心となる。博物館実習2のシラバスも読むこと。若干の経費が必要であり，自己負担とする。最初の授業で経費を集める。授業計画は入れ替わる予定である。					
【授業内容】					
1. 導入講義。経費を集める。	9.	博物館資料の取り扱い方3			
2. 芸術資料館の見学	10.	博物館資料の梱包			
3. 博物館資料の保存科学	11.	博物館資料の撮影1			
4. 博物館の防犯・防災	12.	博物館資料の撮影2			
5. 博物館資料の整理1	13.	博物館資料の撮影3			
6. 博物館資料の整理2	14.	学芸員の業務			
7. 博物館資料の取り扱い方1	15.	総括			
8. 博物館資料の取り扱い方2					
【評価方法】 公的な資格に必要な科目であるので，出席数のチェックと採点は厳しい。出席・レポート，ノートの採点を総合して評価する。当然のことながら，遅刻と早退は減点の対象とする。第1回の導入講義で詳細を説明する。					
【履修上の注意】 登録前に掲示を必ず読むこと。第1回の導入講義に必ず出席すること。授業の性格上，受講者数を制限せざるをえないので，学部1・2回生の履修は事実上不可能であろう。					